

安全と衛生の講演会のご案内

2012年12月3日

尼崎労働者安全衛生センター

議長 松原 保

東日本大震災、福島原発事故からもうすぐ2年近くになろうとしております。

多くの方は「被曝労働者」といえば原発事故の復旧・メンテナンス等の作業に従事する労働者を想像するのではないのでしょうか。

しかし原発事故以後、被災地の除染作業、汚染ガレキの運搬・焼却・清掃・埋め立て等に携わる労働者も新しい被曝労働者として考えていかなければならないと指摘されています。また汚染ガレキにはアスベストも含まれており、慎重かつ丁寧な対応が求められます。

今回は全港湾労働組合委員長の伊藤さんに原発事故以後、輸出中古車や放射能汚染物質を取り扱う業務への対応について、ジャーナリストの井部さんに新しい被曝労働の問題についてお話いただきます。(アスベスト問題についても報告していただきます。)

誰でも、無料でご参加いただけます。是非ご参加下さい。

記

【と き】12月20日(木)午後6時～8時

【テーマ】「3.11以後、原発の外での被曝労働の実態」

【講師】伊藤彰信さん(全港湾労働組合中央執行委員長)

井部正之さん(環境汚染問題ジャーナリスト)

【ところ】尼崎市立労働センター(尼崎市東難波町4丁目18番23号)

TEL06(6482)6180

参加費無料

連絡先 事務局 塩見・飯田まで

TEL&FAX:06-4950-6653